



蕨市土地開発公社の 第3次経営健全化計画終了

市長 頼高英雄

平成25年度から9年計画で進めてきた蕨市土地開発公社の第3次経営健全化計画が、昨年度をもって終了し、約59億円あった債務残高は、目標通り、約13・4億円に縮減することができました。

土地開発公社は、市の委託を受けて、公共事業などの土地を先行取得する公益法人ですが、長期の塩漬け土地、多額な債務残高が社会問題になってきました。私が市長に就

任した当時、蕨市土地開発公社の債務残高は約77億円に上り、保有土地には高額なものも多く、中には、約790㎡で約12・1億円、坪単価509万円という土地もありました。市が債務保証をしている以上、その価格で、市が買い戻さなければなりません。私は、マニフェストに土地開発公社の健全化を掲げ、取り組んできましたが、こうした困難も、何とか乗り越え、ここまで市政改革を進めることができました。

コロナ禍により厳しい財政状況は続きますが、今後とも、コロナ対応をはじめ市民の皆さんの願いに積極的に対応しつつ、引き続き、公社の健全化を進めていきたいと思えます。



市民と市長の面会日

面会日は毎月第1木曜日。今月は2日です。7月は7日です。時間は午後1時～5時を予定しています。

ご希望のかたは秘書広報課（☎433・7701）へご連絡を。